

浜口陽三 《二匹の蝶》 1977年 15.5×15.4 cm

2023年ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 冬のコレクション展

浜口陽三展

3つの小説で出会うメゾチント

Musée Hamaguchi Yozo : Yamasa Collection 2023 WINTER COLLECTION EXHIBITION

Yozo Hamaguchi Exhibition - Mexxolint Came Across in Three Novels

2023
11.25 (sat)

↓
2024
2.25 (sun)

(12月11日～1月5日は冬季休館)
(Closed Dec.11-Jan.5)

ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

[開館時間] 11:00-17:00 (土日祝10:00- / 最終入館16:30)

[ナイトミュージアム] 会期中の第1・3金曜日*は20時まで開館、

最終入館19時半 (*12月1日、1月19日、2月2日、16日)

[休館日] 月曜日 (ただし祝日の1月8日、2月12日は開館)、

1月9日 (火)、2月13日 (火)、12月11日～1月5日

[入館料] 大人:600円、大学生・高校生:400円、中学生以下:無料

Musée
Hamaguchi
Yozo:
Yamasa
Collection

浜口陽三展

3つの小説で出会うメゾチント

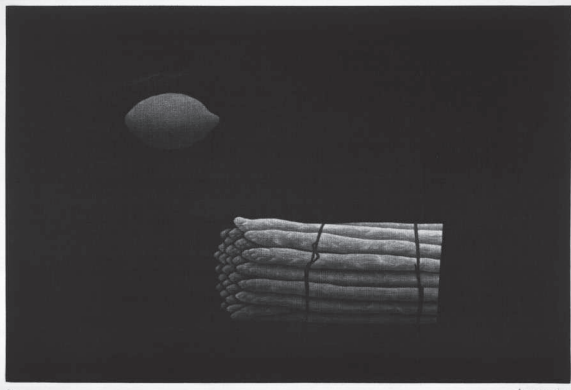
Musée Hamaguchi Yoza : Yamasa Collection 2023 WINTER COLLECTION EXHIBITION
Yoza Hamaguchi Exhibition - Meet Him in Three Novels

浜口陽三(1909～2000)は、20世紀後半に活躍した芸術家です。カラーメゾチントという新しい技法を開拓し、柔らかな奥行と静けさのある色彩表現を生み出しました。

銅版画の中でも、とりわけメゾチントは、日本でなじみが薄い技法の一つですが、一度目にとると忘れられない独特の風合があります。

この展覧会では浜口陽三の作品と共に、メゾチント作品を題材にした小説を紹介します。イギリスの作家、モンタギュー・ローズ・ジェイムズ(1862-1936)の怪談『銅版画』、北村薫(1949-)の時をめぐる小説『ターン』、歌人でもある塚本邦雄(1920-2005)の絢爛な短編小説『七星天道虫』です。

版画作品は、それぞれの時代の空気を帯びて、小説の中にかげがえのない存在感を放ちます。文学におけるメゾチントの感触を、浜口陽三のメゾチント作品と共にご鑑賞ください。



浜口陽三《アスパラガス》1957年 メゾチント
29.2×44.1cm



浜口陽三《ざくろ》 版画六点組より
1978年
カラーメゾチント 11.6×11.5cm

参考作品: 謡口早苗《時》1994年頃 メゾチント 7.1×5.8cm



北村薫『ターン』の着想につながった作品

謡口早苗(うたぐち さなえ)

1946年 東京に生まれる

1983年 池田良二に師事し銅版画を始める

1992年 日本版画会展 新人賞

1997年頃～北村薫『謎物語』(中央公論社)の表紙など、装丁や挿絵を手掛ける

ミュージゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

Tel 03-3665-0251 HP <http://www.yamasa.com/musee/>

Musée Hamaguchi Yoza: Yamasa Collection

1-35-7 Kakigaracho, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, Japan 103-0014

Closed: Mondays (or Tuesdays when national holidays fall on a Monday)

Tel: +81 3-3665-0251



Musée
Hamaguchi
Yoza:
Yamasa
Collection

《イベント》

① 銅版画メゾチント体験教室

1回の実習で製版から刷りまでを行い、ハガキサイズの作品を完成させます。初めてでも無理なくご参加いただける、初心者向けの教室です。

【講師】 江本創 (アーティスト)

【日時】 12/3(日)

午前の部 / 10:00-13:00

午後の部 / 14:00-17:00

【参加費】 1,800円+入館料【定員】 各回10名

【持ち物】 12×7.5cmの下絵、

汚れてもよい服装またはエプロン

【お申込】 11/25(土)12:00より電話にて受付

② 読書会 ワセダミステリ・クラブと語る メゾチントと三小説

本展で紹介する3つの小説の読書会です。事前にテーマとなる小説をお読みいただき、当日は皆様と感想や意見交換会を行います。浜口陽三の作品を眺めたり、メゾチントで使用する道具に触れたりしながらお話ししましょう。お気軽にご参加ください。

～ワセダミステリ・クラブ～

ミステリ・SF・ファンタジー・幻想文学・怪奇小説などを中心とする、早稲田大学公認の総合文芸サークル。1957年に江戸川乱歩を顧問に迎えて発足し、翌年1958年より会誌『Phoenix』の発行を始める。北村薫をはじめとする小説家、評論家、編集者を多数輩出している。

【テーマと日時】 いずれも閉館後の17:10～18:40

①1月27日(土)

『銅版画』M・R・ジェイムズ 南條竹則訳

(『消えた心臓 / マグナス伯爵』光文社古典新訳文庫より)

②2月3日(土)

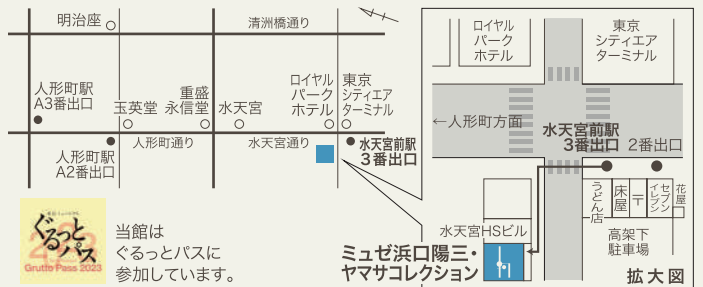
『ターン』北村薫 新潮社 特別ゲスト:北村薫氏

③2月10日(土)

『七星天道虫』塚本邦雄(『夏至遺文 トレドの葵』河出文庫より) 特別ゲスト:塚本青史氏(歴史小説家)

【受付と参加費】

1月7日(日)12時から電話にて随時受付。各回80名まで。入館料のみ。見学だけでも大歓迎です。



東京メトロ半蔵門線 [水天宮前] 3番出口そば

東京メトロ日比谷線 [人形町] JA2出口徒歩8分

東京メトロ都営浅草線 [人形町] JA5出口徒歩10分



Access